

うみぎょう 海業への取り組み

海や漁村の地域資源の魅力を活用して、地域のにぎわいや所得、雇用を生み出すことが期待される海業。

国内外の多様なニーズに応えることにより、その地域の活性化だけでなく都市部住民との交流の活発化、水産資源への理解醸成、そして、世界にも通じる海業のコンセプトや魅力を発信していくことを目指します。

うみぎょう 海業とは、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業です

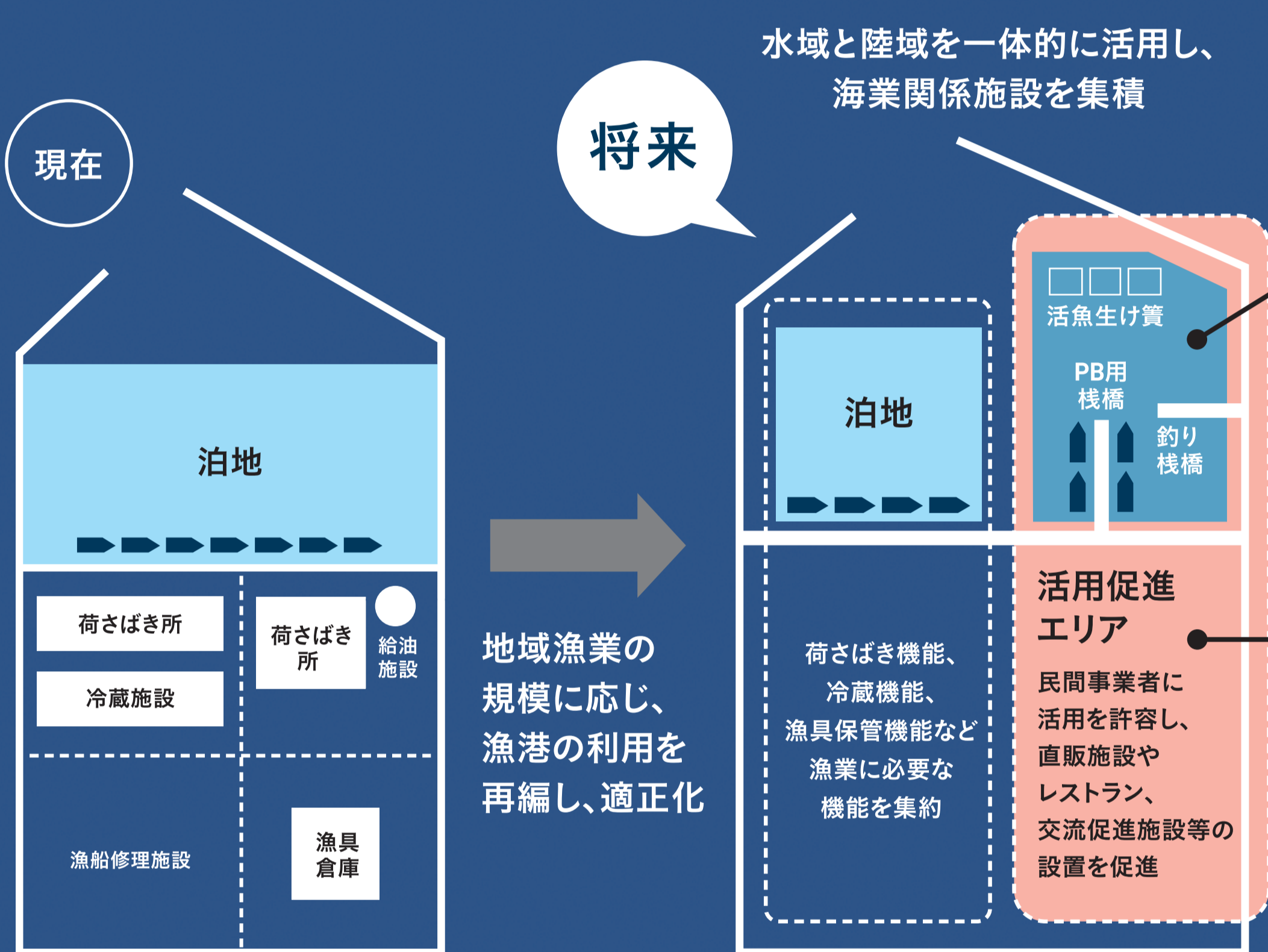
漁港法の改正による海業の推進

- 1 漁港施設の貸付け
- 2 漁港区域内の水域・公共空地の長期占有
- 3 遊漁や漁業体験活動、海洋環境に関する体験活動等のための水面の長期占有

海業としての活用されることが想定されるコンテンツ

海洋性レジャー / 港 / 水面 / 飲食・物販店 / レジャー施設 / 宿泊施設 / 研修・交流施設 / 交通機関

漁港における海業推進のイメージ



地域の漁業実態にあわせ、漁港施設の再編・整理、漁港用地の整序等により、海業の場として活用するスペースを創出。



漁業体験



直販施設



岸壁前に立地するレストラン



水産物の消費を促す宿泊施設

水産庁HPより



地域経済への効果 / 魚食普及 / 地域住民との交流

海業へのアプローチ

海とのふれあい

レジャー

学習(研修)

体験型旅行

就業型



うみぎょう 海業の可能性は？